

RCS P シリーズプローブ、 ワーク配置時の誤差低減と 正確なセットアップ実現に貢献



精度が求められる
ミーリング加工



プログラミング時間の
短縮



背景:

1985年イタリア設立の Ronchini Milling (RM) Technologies 社は、CNC 工作機械開発の専門知識を活かして、RoboCut ミーリングロボット自動化セルを開発した。彫像、舞台セット、レリーフなどの芸術作品を製作するのに特化したセルである。



課題:

同社は、ロボットに対してワークの位置を正確に特定することに課題を抱えていた。同社は、CAD のデジタル環境とフィジカルの差を埋めることでロボットの誤差を最小限に抑え、シームレスなオフラインプログラミングを可能にしてくれるソリューションを求めていた。



解決策:

RM 社が採用したのがレニショーのプローブである。加工した基準穴を使い、プローブで正確にアライメントすることで、ロボットに対するワークの位置を高精度に検出できるようになった。また、インプロセスの復旧ルーチンと組み合わせることで、精度が大幅に向上し、誤差が劇的に低減し、ひいては NG 品ゼロを達成するに至った。



レニショーさんのソリューションのおかげで、プロセスが効率的になってセットアップ時間が短くなり、それに精度と繰り返し精度が上がりました。



Ronchini Milling Technologies 社 (イタリア)